

漢字スキルの進め方

ここに載せているのはあくまでも、1つの例です。お家の実情に合わせて工夫して漢字練習をしてください。

配付した漢字スキルにも書かれています。新しい漢字を覚えるときは、「指書き」「なぞり書き」「写書き」という3つのステップで覚えていきます。

この中で最も大切なステップは「指書き」です。間違えた字を一旦覚えてしまうと、修正するのに多くの時間を要します。まずはお手本をよく見て、正しい「字の形」と正しい「書き順」を指書きでインプットしましょう。それから鉛筆をもち、「なぞり書き」「写書き」を丁寧にするようにしましょう。

以下に、具体的に何をするかを示していますので、どうぞ参考にされてください。

★漢字スキルの使い方 ①

【1日目】 漢字の覚え方を教え、1 ページ目を練習する。

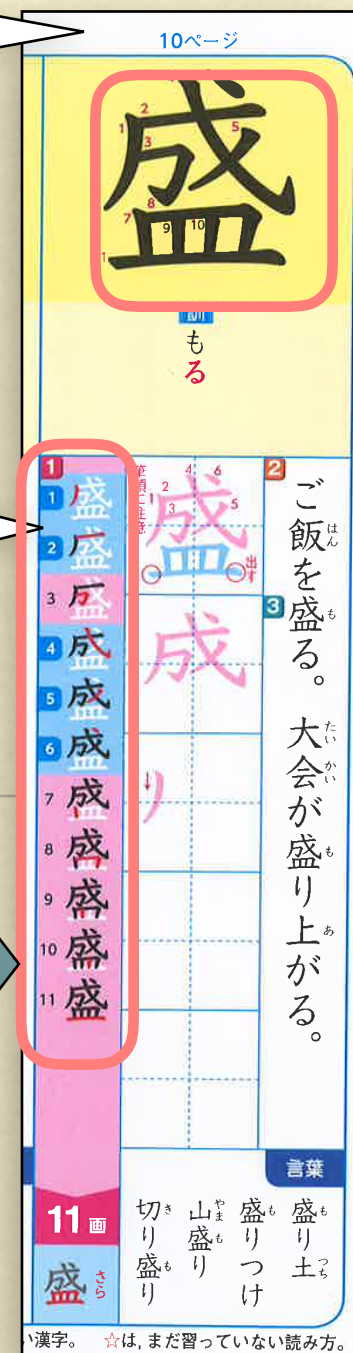
ステップ 1 指書き

まず初めに筆順を見ながら机の上に指で書きます。これを「指書き」といいます。指書きをするときは必ず筆順を声に出して数えます。目と手だけではなく、口と耳も使って覚えます。見ないでも書けるようになるまで何度も何度も練習します。覚えるまでは鉛筆を持ちません。

時には、お家の方の掌の上に指で書かせてみるのもよいでしょう。

①最初はこの字の上に指を置いて、画数をいいながら、この通りに書かせると間違いがありません。

②ここを見て画数を言いながら、机の上に指がきをします。



★漢字スキルの使い方 ②

【1日目】 漢字の覚え方を教え、1 ページ目を練習する。

ステップ2 なぞり書き

漢字が薄く書いてあるところをえんぴつでていねいになぞります。これを「なぞり書き」と言います。1mmもずれないようにして書きます。あわてずゆっくりていねいに書くようにします。

ステップ3 写し書き

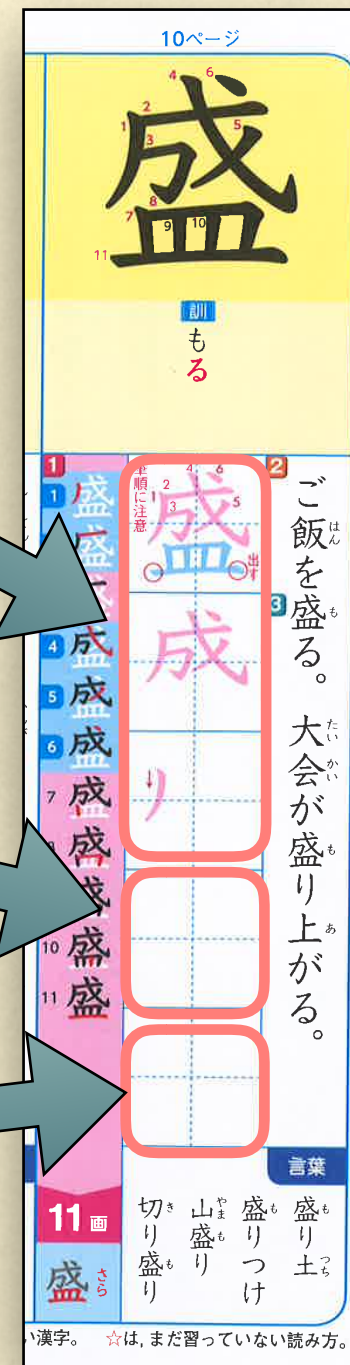
なぞり書きができたならその下の段にそっくりそのまま写して書きます。これを「写し書き」と言います。これも筆順をいいながら書きます。

最後の一字は上を筆箱などで隠して、書かせると覚えたかどうかの確認になります。

以上で1日目の指導を終えます。10分～15分程度です。

【2日目】 2 ページ目を練習する。

1日目と同じ要領で5～10分間程度練習します。



★漢字スキルの使い方 ③

【3日目】 3 ページ目の練習

テストの練習をします。

たてではなく，横に沿って順番に書いていきます。上段はなぞり書き，下段は写し書きです。

最後は確認です。上を筆箱などで隠して，下の漢字の読み方を見ながら，テストをします。書けない字があったら，その字だけを指書きして練習します。

1 テストの練習
テスト1に出る漢字を覚えよう。
①②③④を、横に進めていこう。

①読み方を書く
②なぞろう
③写そう
④確かめよう

ことなる ろうどく きず われる まく すぎる さばく ならべる してん もる

★漢字スキルの使い方 ④

【4日目】プレテスト

まず上のテストをして答え合わせをします。お家の人に見てもらおうとよいでしょう。

まちがえた漢字は何度も指書きをします。そして下段にポイントだけをテストをします。ポイントは、「まちがえたところのみをテストする」ということです。

【5日目】再テスト

ノートなどにまちがえた漢字が書けるかを確認します。

巻末についている切り離し式のテストはしません。学校が始まったら、授業中にします

プレテスト

テスト①のたしかめ

次の問題がテストに出るよ。

線は、送り仮名を書き、正しい漢字をい

漢字の読み方

1 料理を皿に もる

2 相手の し てん で 考える。 ならべる

3 つくえをきれいに さ

4 広い すざる さばく な ら べ る を 横 断 す る。

5 長い時間が まく

6 首にマフラーを わ れ る

7 落とした皿が き ず が 治 る。

8 ひざの こと な る

9 詩を し を し る。

10 こ と な る 意 見 を 述 べ る。

★答えは前のページの①～⑩で確かめましょう。

まちがえた問題は、もう一度確かめよう。

10 ことなる

9 ろうどく

8 きず

7 われる

6 まく

5 すざる

4 さばく

3 ならべる

2 してん

1 もる

漢字の読み方